別紙２

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号											
使用状況	１日の使用時間及び月使用日数等	時～　時 時間／回　回／日　日／月				時～　時 時間／回　回／日　日／月					
	季節変動										
原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。）	種類										
	使用割合										
	原材料中の成分割合（%）	いおう分 カドミウム分		鉛分 弗素分		いおう分 カドミウム分		鉛分 弗素分			
	１日の使用量										
燃料又は電力	種類										
	燃料中の成分割合（%）	灰分	いおう分	窒素分		灰分	いおう分	窒素分			
	発熱量										
	通常の使用量										
	混焼割合										
排出ガス量（m^3/h）	湿り	最大		通常		最大		通常			
	乾き	最大		通常		最大		通常			
排出ガス温度（℃）											
排出ガス中の酸素濃度（%）											
ばい煙の濃度	ばいじん（g/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	いおう酸化物（容量比ppm）	最大		通常		最大		通常			
	カドミウム及びその化合物（mg/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	塩素（mg/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	塩化水素（mg/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素（mg/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	鉛及びその化合物（mg/m^3）	最大		通常		最大		通常			
	窒素酸化物（容量比ppm）	最大		通常		最大		通常			
ばい煙量	いおう酸化物（m^3/h）	最大		通常		最大		通常			
参考事項											

備考　１　原材料中の成分割合（%）の欄及び燃料中の成分割合（%）の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

２　排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が１気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

３　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

４　ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

５　参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。

別紙２

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号											
使用状況	１日の使用時間及び月使用日数等	時～　時 時間／回　回／日　日／月				時～　時 時間／回　回／日　日／月					
	季節変動										
原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。）	種類										
	使用割合										
	原材料中の成分割合（%）	いおう分 カドミウム分		鉛分 弗素分		いおう分 カドミウム分		鉛分 弗素分			
	１日の使用量										
燃料又は電力	種類										
	燃料中の成分割合（%）	灰分	いおう分	窒素分		灰分	いおう分	窒素分			
	発熱量										
	通常の使用量										
	混焼割合										
排出ガス量（Nm^3/h）	湿り	最大		通常		最大		通常			
	乾き	最大		通常		最大		通常			
排出ガス温度（℃）											
排出ガス中の酸素濃度（%）											
ばい煙の濃度	ばいじん（g/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	いおう酸化物（容量比ppm）	最大		通常		最大		通常			
	カドミウム及びその化合物（mg/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	塩素（mg/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	塩化水素（mg/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素（mg/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	鉛及びその化合物（mg/Nm^3）	最大		通常		最大		通常			
	窒素酸化物（容量比ppm）	最大		通常		最大		通常			
ばい煙量	いおう酸化物（Nm^3/h）	最大		通常		最大		通常			
参考事項											

備考　１　原材料中の成分割合（%）の欄及び燃料中の成分割合（%）の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

２　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

３　ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

４　参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。